



新しいZOOMOはこんな場所!

New One World-One Health

ZOOMOが掲げる理念は「One World-One Health」。「人と動物と環境の健康は相互に関わり合い、一つである」という考え方です。この理念のもと、これまで以上に岩山の立地や自然環境を活用しながら、動物たちの行動や暮らしを間近で観察できるよう工夫した飼育展示を紹介します。

広報担当者が取材してきました!



ニホンツキノワグマ

岩手の豊かな森に生息

岩手には全国でも上位に入るほど多くの野生のツキノワグマが生息しています。植物類と動物類の両方を食べる雑食性で、たくさん食べ物を必要とするツキノワグマが多く生息しているのは、岩手の森が豊かな証です。

「ツキノワグマテラス」でガラス越しに観察

農作物被害や人身事故から、「悪者」「怖い」というイメージのあるツキノワグマですが、豊かな森の中で人間と共存する「森の隣人」です。ツキノワグマの運動場にせり出した、ガラス張りの「ツキノワグマテラス」からツキノワグマの行動や暮らしを知ってほしいです。



口を開けてにっこりしている表情がかわいい!

爪や口の形、木登りが得意なことなど、クマの習性をより近くで感じてもらいたいです。

ZOOMOスタッフ 河野 晴香さん

ニホンイヌワシ

岩手は全国有数の生息地

生息数が減少し、現在環境省の絶滅危惧種に指定されているニホンイヌワシ。岩手県は約30のつがいが確認されている全国有数の生息地で、市内でも保全活動に取り組んでいます。

飛ぶ姿を目の当たりにできる「イヌワシパススルー」

園内の林を囲う形で設けた「フライングケージ」では、来園者がイヌワシの飛び姿を、ケージ内を通るパススルーから間近で見ることができます。翼を広げると2羽にもなるニホンイヌワシが動きやすい大きさにリニューアルしました。



広さも高さも従来の3倍!

ZOOMOのシンボル

ニホンイヌワシの生息数が減っている背景には、里山の荒廃や林業の衰退があるとされています。里山や伐採地に人の手が入らなくなったため、開けた場所を好む動物が減り、それらを捕食していたニホンイヌワシの生息環境が変化してきたのです。「里山の再生」をテーマの1つにしているZOOMOでは、ニホンイヌワシをシンボルとして、動物と人間の共生を目指しています。

変わった!



ベンチ

さまざまなタイプのベンチや休憩スペースがあるので、目の前の景色をゆったり眺めたり、観覧途中でゆっくり休憩したりできます。



授乳室

授乳室が3カ所に増え、赤ちゃんや小さい子ども連れの人も安心して来園できます。

トイレ

園内のトイレは全て洋式化し、障がいのある人も快適に利用できます。

まってるよ!



ショップ

ZOOMO BASE内にある売店「asHiato by ZOOMO」では、オリジナル商品を多数取りそろえています。ZOOMOの動物たちのグッズは、県内のクラフト作家の皆さんのご協力で、完全オリジナルで作成しています。

4月20日にリニューアルオープンを迎えた盛岡市動物公園ZOOMO。すでにいった人も、これから行く人も、ZOOMOをもっと楽しめるよう、全国的にも希少な魅力・見どころやおすすめの過ごし方などを紹介します。

【問】公園みどり課 ☎639-9057

イベントなどの詳しい情報はこちらから



New ランドスケープデザイン

ZOOMOのもう一つの大きな特徴は、「里山」「動物園」「公園」のそれぞれが持つ魅力を最大限に生かしたランドスケープ設計をしたこと。何度でも訪れたいくなるような、ZOOMOならではの空間になりました。

① エントランス

ジグザグに配置した植栽とZOOMOの動物を模したサインがこの先の想像をかきたて、ワクワク感が高まります。



② ツキノワグマ前見晴台

園内の樹木を間伐したことで、「抜け」のある空間が生まれました。ツキノワグマ舎近くのデッキからは、盛岡の街の眺望も楽しむことができます。



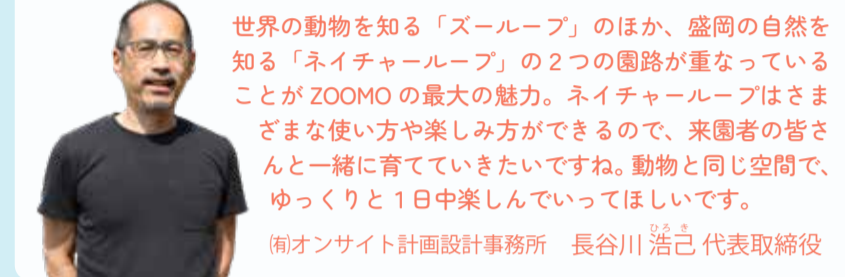
空気が澄んでいて気持ちいい!

③ IWAYAMA LAB+ネイチャーループ

主園路とは別に設置された「ネイチャーループ」では、四季折々の自然を感じながら園内を散策できます。自然豊かな岩山で昆虫や植物などを身近に感じながら、野生動物との出会いがあるかも。



自然豊かなZOOMOならではの楽しみ方!



世界の動物を知る「ズーループ」のほか、盛岡の自然を知る「ネイチャーループ」の2つの園路が重なっていることがZOOMOの最大の魅力。ネイチャーループはさまざまな使い方や楽しみ方ができるので、来園者の皆さんと一緒に育てていきたいですね。動物と同じ空間で、ゆっくりと1日中楽しんでほしいです。

園オナサイト計画設計事務所 長谷川 浩己 代表取締役

④ カンガルーヒル

今回のリニューアルで最も大きく地形が変わったエリア。カンガルーがいる広場に、来園者が入ることができます。運が良ければカンガルーが目の前まで来てくれるかも。

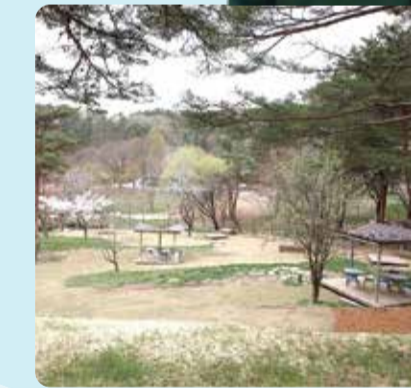


同じ目線でカンガルーの動きが見られます。カンガルーがどんな動きをするかスタッフも楽しみです。

ZOOMOスタッフ 齊藤 正弘さん

⑤ PICNIC FIELD

牧場エリアのウシやヤギ、ラマやアルパカなどの動物たちを眺めながらゆっくりと過ごしたり、虫捕りをしたりすることもできる広い芝生の広場です。中央のトンボ池では、両生類や昆虫類などさまざまな生き物を観察できます。



野生のカモシカに会えるかも!?



施設情報



- 開園時間
4月~10月: 9時半~16時半 (入園は16時まで)
11月~3月: 10時~16時 (入園は15時半まで)
- 休園日
水曜日 (11月~3月は水曜・木曜)、12月29日~1月3日
- 入園料
小・中学生500円、高校生以上1000円
- 駐車料金
普通車300円、大型車1000円
- 問い合わせ
盛岡市動物公園ZOOMO ☎654-8266

市長コラム

盛岡市動物公園 ZOOMO のように、豊かな自然に囲まれている動物園は全国でも珍しく、今回のリニューアルでは岩山の豊かな自然を活用した、「ZOOMOにしかない」空間づくりを目指しました。動物に会いに行くだけでなく、四季折々の自然の中で、ピクニックや散歩、読書など、思い思いの過ごし方ができますので、お気に入りの過ごし方を見つけてみてはいかがでしょうか。

盛岡市長 谷藤 裕明

